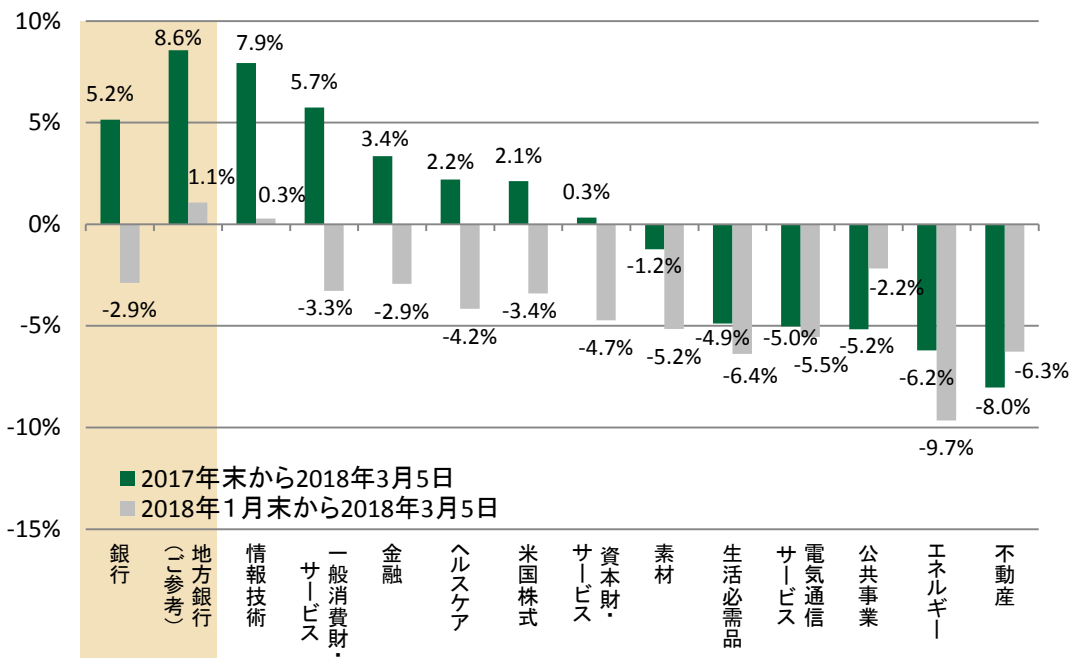


2018年3月6日

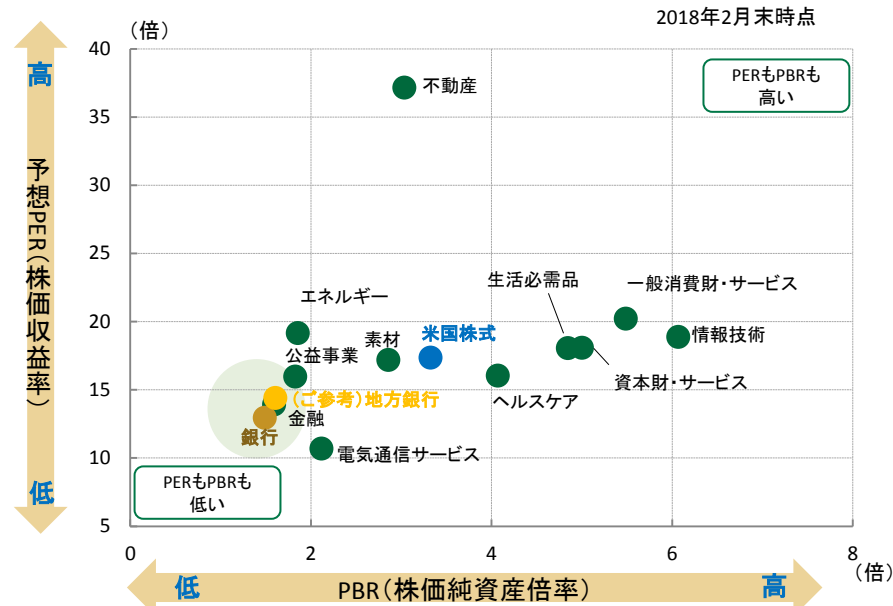
# 《米国株式市場》 業種別騰落率とバリュエーションの比較

- 2018年2月の米国株式市場は全体的に下落しましたが、年初来(2017年末から2018年3月5日)では、情報技術、一般消費財・サービス、金融(銀行)などは、昨年末に比べて高い水準にあります。
- PBRやPERでは、金融(銀行)が相対的に低水準にあり、米国株式全体の中でも割安な業種であると考えられます。

米国株式:業種別騰落率(配当込み)



米国株式:業種別の予想PER、PBRの比較



米国株式:S&P500種指数、米国株式各業種:S&P500業種別指数、銀行:S&P500銀行株指数、地方銀行:S&P総合1500地方銀行株指数  
 出所:ブルームバーグのデータをもとにマニライフ・アセット・マネジメント株式会社が作成  
 ※当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。「ご留意いただきたい事項」を必ずご覧ください。

●PER(株価収益率)とは、株価と企業の収益力を比較することによって株式の投資価値を判断する指標のひとつです。過去平均や他業種との比較等から割高・割安を判断する目安として利用されます。  
 ●PBR(株価純資産倍率)とは、株価を「資産」の面から見て割安か割高か判断する指標のひとつです。PBRが低いほど、資産に対して株価が割安と判断されます。

[ご留意いただきたい事項] ●当資料は、マニライフ・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます)が、投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、特定の投資商品の推奨を目的としたものではありません。●当資料記載のデータや見通し等は、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報をもとに作成しておりますが、正確性、適時性を保証するものではありません。●当資料の内容およびコメントは資料作成時点における経済・市場環境等について当社の見解を記載したもので当該見解は予告なく変更される場合があり、将来の経済・市場環境の変動等を保証するものではありません。●各指数に関する著作権等の知的財産、その他一切の権利は、各々の開発元または公表元に帰属します。●投資信託のお申込みの際は、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)で商品内容をご確認の上、ご自身で投資のご判断をお願いいたします。●当資料に関する一切の権利は、引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部または全部の無断での使用・複製はできません。